

箕面シニア塾を生きがいに がんばっています!

座学中心の印象があった箕面シニア塾がおもしろ
そうなプログラムが豊富になっていて驚きました。

ざっとみても、箕面の名所を巡る「見どころいっぱい
箕面探検」をはじめ、歌舞伎、浮世絵が学べ文楽鑑賞
もある「味わう愉しさ日本文化」、昭和歌謡を楽しめ、
藍染めと阿波踊り体験もできる「人生豊かに経験」な
どなど多彩です。もちろん「健康ダンス」「楽しく体力
アップ」「簡単太極拳で転倒防止」など、我々シニア世
代に魅力的な健康長寿系のコースもあります。なか
でも、『からだ』と『あたま』の体操を同時におこなう
「運動と脳トレでアンチエイジング」がとても魅
力的だと思いました。

聞いたところでは、倉田市長さんが
進めている「健康長寿」のためにプ
ログラムを強化されたとのこと
でした。

興味を持って出か
けられ、さらに仲間を
見つけて次につなが
る仕掛けを作ってくれた
取り組みに感謝します。

(瀬川 S.H)



子どもが 小学校の英語が楽しい と喜んでいます!

私は海外旅行が好きなのですが、い
つも困っていたのが言葉の壁でした。流
暢な英語を話したくて、英会話教室にいった
こともあったが、大人になってからの英語はな
かなか身につかず諦めていました。だから子どもに
は幼少期から英語を学ばせたいと考えていたのです
が、箕面市の小・中学校では、外国人の英語指導助手
(ALT) がたくさんいて、子どもたちが日常的に英語とふ
れあえる環境になっていて、とてもよかったです。

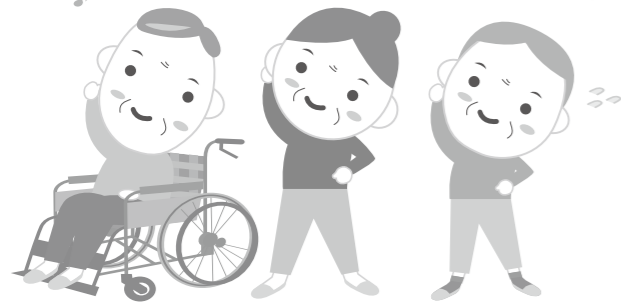
子どももALTとのやりとりをとても楽しみに
していて、歌やゲームをしながら英語を学
んでいることを家で嬉しそうに話してく
れます。なにより楽しいのはテンションの
高さ!(笑)

もちろん子どもも負けないテンションです
が、日本人にはないテンションでのあいさつ
「Hello!」、「ハロー!!」と返す子どもたちはとても楽
しそう。

昔の英語は、文法などで覚える英語だったのが、日
常的な会話で身につける英語に変わったような気が
します。すぐ覚えそうですね。

ALTは全小・中学校にいますが、今年の秋からはさ
らに増員されると聞きました。増えれば、それだけ多
くの子どもたちとALTの関わりが増えるということなの
でもっと英語が身近になり、子どもたちの将来に役立
つことと思います。これからもぜひ広げてください。

(粟生外院 K.M)



箕面市長 倉田哲郎 まちづくりニュース

“箕面のチカラ”

2017年09月号

倉田哲郎後援会 Fax 06-7635-7195

倉田市政、 第3ステージも まっしぐら!

昨年8月に実施された市長
選挙では、みなさまの厚いご支
援、ご声援をいただき誠にあり
がとうございました。みなさま
のおかげで、倉田市政が3期目に入
りました。

この間、倉田哲郎市長は、柔軟な発想と大胆
かつ緻密な戦略で市政を牽引し、箕面市財政の
V字回復を達成しつつ、同時に「子どもの医療
費助成の高校卒業までの拡大」、「小中学校の
100パーセント耐震化」、「オレンジゆずる
バス&タクシーの運行開始」、「市内各所への
防犯カメラの設置」、「中央図書館・小野原図
書館の整備」、「松寿荘の建替えリニューア
ル」、「箕面駅・桜井駅の周辺整備」などな
ど、数多くの施策を実現し、確実に箕面市を発
展させてきました。さらには、半世紀にわたり
「夢」のように語り継がれ、都市伝説となって
いた「北大阪急行線の延伸事業」まで実現し、
多くの人々を驚かせました。

常に市民目線で愛すべき箕面
にこだわり続け、「箕面に住んで
いて良かった」「ずっと住み続けた
い」と誰もが感じられるまちをつくる
ため、「変えるべきは断固として変え、伸ばす
べきは思いきって伸ばす」という倉田市長の
強い思いや姿勢はこれからもまったく変わり
ません。

3期目就任に当たり倉田市長は「箕面市が
将来にわたって市民に愛される魅力的なまち
であり続けるよう、50年先、100年先を見通
して進むべき道を選び取り、素晴らしい未来の
箕面を、誇りをもって子どもたちに引き継げる
よう全力で取り組む」と抱負を語っています。
3期目の倉田市政にも期待が膨らみます。

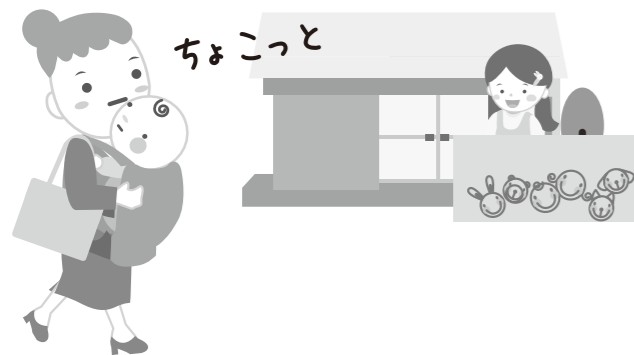


どんなときでも 子育てしやすい日本一

～病気のときも、ちょっとした用事も～

子どもの医療費助成が、全国でもトップクラスの水準に拡充されました。対象者を、これまで「ゼロ歳から中学校卒業まで」であったのを、「高校卒業年齢まで」に拡大。しかも、所得制限はなく、入院も通院も助成されます。子どもを親の所得によって区別せず、すべての子どもが安心して医療を受けられるよう、対象年齢の拡大と所得制限の全廃がスタートしたのが平成21年度。平成25年度には対象を中学校卒業まで拡大し、ついにこの4月「高校卒業年齢」まで拡大になったのです。

また、孤立せずに安心して子育てができるように、1時間単位で気軽に預けられる「ちょこっと保育あそびー」が、今年1月から始まりました。冠婚葬祭はもちろん、美容院にも利用できます。利用者から「ちょっとの用事でも預けられる」、「息抜きできて助かる」と好評です。



他にも、倉田哲郎市長の実行力で、子育て支援が拡充されます。出張子育てひろばが1.5倍増えて年間約250回開催。しかも、保育士による子育て相談に加えて、保健師による健康や発達面での相談も気軽にできます。

ひとり親家庭の養育費や親権などの悩みに弁護士が専門的に対応する、無料法律相談も毎月定期的を実施。

ライフプラザの芝生広場には、0～2歳の乳幼児が安心して遊べる約1,000㎡もの広さのキッズパークの開設準備が進行中です。

次々と展開される子育て施策によって、どんなときでも子育てしやすい箕面がさらに魅力的になっていきます。

快適なスポーツ環境で 健康づくりも効率アップ

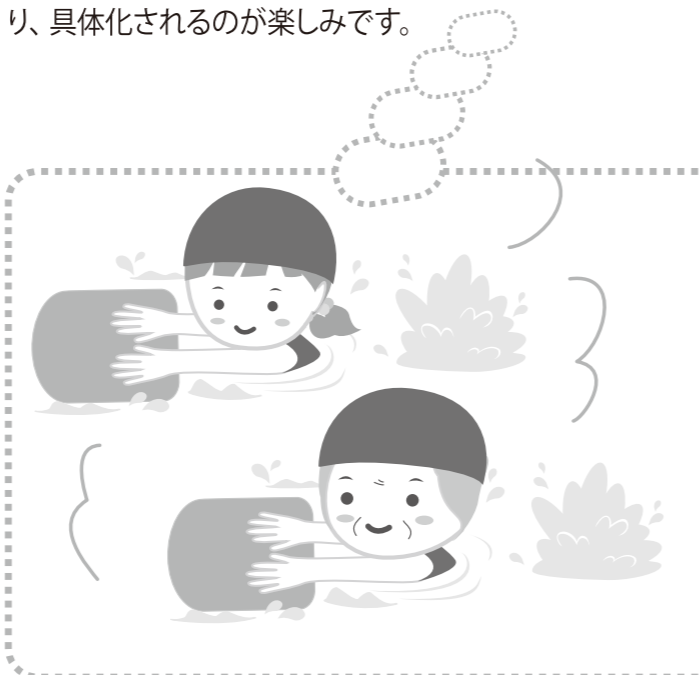
～設備をメーカー標準耐用年数で更新～

高齢の方から子どもたちまで幅広い世代の健康増進と体力づくりの場となる総合運動場やスカイアリーナは、多くの方に利用されています。しかし、老朽化が進み、お世辞にも快適とは言えない状況でした。

そこで、倉田哲郎市長は、特に傷みがひどかったテニスコートや体育館の床の改修、トイレの洋式化などに着手。既に耐用年数が超えている設備は、2ヶ年をかけて一斉に買い替えや修繕がされることになりました。

さらには、設備の定期的な買い替えや修繕を約束する「スポーツ施設マネジメント計画」を策定。この計画は、プレイヤーの快適性に直接影響する設備・備品や、安全・衛生を維持する設備は、メーカー標準の耐用年数に沿って買い替えや修繕をルール化する画期的なものです。必要な経費は、市予算も投入しつつ、他市に比べ低額に据え置かれてきた利用料金を改定して充てられます。

また、多くの人が望んでいる屋内温水プールの整備も検討されています。長寿社会における高齢者の健康づくりや、子どもたちの体力づくりなど、さまざまな効果が期待される屋内プール新設のため、倉田市長はすでに検討チームを立ち上げ、設置場所の洗い出しなど進めており、具体化されるのが楽しみです。



箕面がっす便利で 魅力的なまちに

～まもなく北大阪急行線が延伸～

倉田哲郎市長が歴史的な快挙を成し遂げた北大阪急行線の延伸。平成32年度の開業に向けてついに本体工事に着手しました。鉄道が伸びて便利になるだけでなく、駅が2つでき、周辺にも大きな変化をもたらします。倉田市長は、「“便利さ”と“環境の良さ”の共存の追求」を大方針に、新駅周辺のまちづくりにも積極的に取り組んでいます。

(仮称)新箕面駅の周辺には、市街地に貴重な農地が残っています。山なみや農地を守り育てることを大前提に、都市部にはない穏やかな田園風景を維持しながら、箕面を象徴する新たな交通ターミナルとして、バス・タクシー乗り場、駐輪場の整備や、駅前ビルの誘致などが行われる計画です。



新御堂筋・上り線を1車線にしての延伸工事
(11月には2車線に戻るそうです)

(仮称)箕面船場駅の周辺には、市民文化ホールなどを移転する計画です。また、大阪大学の新たな都市型キャンパスの開校など、可能性が広がります。この他、駅前に市立図書館を移転し、大学の蔵書60万冊の受け入れや、文化交流施設の整備により、市民に開かれた「知の拠点」の創出がめざされています。さらに、新駅を中心とした鉄道・道路・バスによる新たな交通ネットワークの再編が予定されています。箕面市の積年の課題である東西方向の移動の不便さが解消され、市全体がよりいっそう便利なまちになることが大いに期待されます。

トップクラスの 安全性をめざして

～防犯カメラで犯罪防止の効果発揮～

ここ数年、住みたいまちランキング上位の常連となっている箕面市ですが、その評価の主な要因に、安全に暮らせるまちとしての高い評価があります。

なかでも、防犯カメラは、平成27年度から全市立小学校14校の通学路に配備を開始し、1校あたりの設置率は全国でも断トツ1位。防犯カメラを設置する自治会に費用の9割を補助する制度も創設し、通学路以外の死角になりやすい細い路地などにも設置され、警察が街頭犯罪を捜査する際に活用されています。実際、ミニバイクによるひったくり犯が、防犯カメラに鮮明に写り込んでおり、逮捕につながりました。

防犯カメラが設置されてから、自転車やオートバイの窃盗、子どもへの声かけなど不審者情報は、大きく減少しています。今後も犯罪抑止効果と事件の早期解決が期待されます。



他にも、小型発信器を持った子どもの居場所を検知する「見守りサービス」の本格運用と高齢者への導入、ゲリラ豪雨による浸水被害の危険のある地区の水防対策、レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）内の人口ゼロを推進する土砂災害対策、自転車走行レーン（青い路面標示）の全市展開といった、誰もが安全・安心に暮らせる取り組みが目白押しです。

世界でもトップクラスの安全を誇る日本の中で、ランキング上位に位置する箕面市を更にワンランク高める倉田哲郎市長の手腕に、今後も注目が集まります。